

農産物検査器をリニューアル!

農産物検査の高度化を進めるため、一部項目は目視に代えて穀粒判別器による鑑定も可能とするように見直され、令和4年2月に農産物検査規格が改正されました。(下記、《農産物検査の見直し》を参考下さい)

生産者通信

(有)エコ・ライス新潟
定価 100円(送料込)



穀粒判別器

米粒食味計：食味値やたんぱく質を測り、お米の美味しさの判断ができます。



測定結果

穀粒判別器

| | 重量比率 | 粒数比率 | 粒数 |
|------|------|------|-----|
| ○整粒 | 86.5 | 84.1 | 780 |
| ●着色粒 | 0.0 | 0.0 | 0 |
| ●死米 | 0.0 | 0.0 | 0 |
| ●胴割粒 | 0.7 | 0.6 | 6 |
| ●碎粒 | 0.4 | 0.5 | 5 |
| ●白未熟 | 0.2 | 0.2 | 2 |
| その他 | 12.2 | 14.6 | 135 |
| 測定粒数 | | | 928 |

食味計

| | | |
|-------|------|-------|
| 食味値 | 79 | D/W/A |
| たんぱく質 | 7.2 | D |
| 水分 | 16.1 | |
| アミロース | 18.7 | |
| 脂肪酸度 | 11.7 | |

結果によって、米の評価が変わる可能性があります!たんぱく質と脂肪酸度要チェックです。

← 玄米を上下左右から測定(正確な情報が得られます)

水稻うるち玄米の規格について、これまでの規格とは別に、「機械鑑定を前提とした規格」ができました。これにより、容積重、白未熟粒、水分、死米、胴割粒、などの項目について数値で詳しく知ることができます。

(参考) 農産物検査の見直し (イメージ)

《農産物検査の見直し》

農産物流通等の現状や消費者ニーズの変化に即した合理的なものとなるよう検討・見直し

(Before)

熟練を要する目視を中心とした検査

- ・目視検査による限界や地域間、検査員間のバラツキ
- ・多様化する流通、実需者・消費者ニーズへの対応の遅れ
- ・人口減少下での農業者・検査現場の負担の増大

○ 目視検査による限界や地域間・検査員間のバラツキ



○ 多様化する流通やニーズへの対応の遅れ



○ 農業者・検査現場の負担の増大



(After)

流通・販売・消費の多様化に対応する機械検査

- ・機械測定で「数値」で米の特徴を精緻に示すバラツキの少ない検査
- ・生産から流通までのデータを活用する「スマート・オコメ・チェーン」を構築
- ・国際的な考えに基づく検査手法の簡素化・合理化、
- ・検査を要件とする補助金・食品表示制度の見直し

| | | | |
|-----------------|------------|----------------------|---------------|
| サンプリングの簡素化 | 検査できる品種の拡大 | 多様な包装の活用 | QRコード等による検査証明 |
| 機械による検査(測定値で証明) | 量目検査の簡素化 | 検査を要件とする食品表示、補助金の見直し | 等 |

消費者ニーズや流通の実態に対応した農産物検査の合理化・簡素化

生産から消費に至るまでの情報を連携・活用する「スマート・オコメ・チェーン」の構築

- ・米の栽培や販売方法等に関して農業者に多様な選択肢が提供
 - ・農産物検査の合理化により農業者や現場の負担が軽減
- 農業者の所得向上・米関連事業の発展